

# 第15回 革靴製造技能試験

## 募集要項



# 1. 試験の種類、等級及び受験資格

## (1) 試験の種類

革靴製甲技能(婦人・紳士)  
革靴底付技能(婦人・紳士)(手釣り・機械釣り)

## (2) 試験の等級

本年度から申し込みの際の等級区分はありません。  
評価点数により1級或いは2級に認定します。

## (3) 受験資格

製甲及び底付の作業経験が半年以上あり、作業用の工具の使用、機械の操作が安全に行えること。

# 2. 試験概要

一次試験と二次試験の2回を実施、一次試験で現在の力量を計り、二次試験合格のためのアドバイスと課題を示します。

## (1) 学科試験(二次試験終了後)

試験時間：30分  
出題方法は「真偽法」と「多岐択一法」の併用とします。  
出題範囲は「10. 学科試験出題範囲」を参照してください。

## (2) 実技試験(一次試験及び二次試験)

試験時間90分～120分(試験種類により異なります。)  
試験の種類ごとに「婦人」または「紳士」のいずれかを選択してください。  
さらに底付け技能は手釣りまたは機械釣りのいずれかを選択してください。

# 3. 試験日時及び試験会場

## (1) 一次試験

受験申込受付後、パスワードを連絡しますので全日本革靴工業協同組合連合会(以下全靴協連と言う)ホームページの革靴製造技能試験予約ページにログインし、令和3年11月1日～12月24日の内、受験者の都合の良い日1日(午前または午後)を、予約していただきます。

## 会場は全靴協連人材研修施設

住所：東京都台東区橋場 2-4-1

東武浅草駅より都営バス南千住駅西口行「清川二丁目」下車徒歩5分  
(下記 url より時刻表が参照できます。)

<https://tobus.jp/blsys/navi?VCD=cresulttbl&ECD=showprint&LCD=&slst=984&pl=3&RTMCD=102&DT=20180401&tgo=1>

南千住駅より都営バス東神田行「清川二丁目」下車徒歩5分

<https://tobus.jp/blsys/navi?VCD=cresulttbl&ECD=showprint&LCD=&slst=2582&pl=1&RTMCD=102&DT=20180401&tgo=1>

東武浅草駅より北めぐりんバス「橋場一丁目」下車徒歩1分

<http://megurin.bus-go.com/>

### (2) 二次試験

令和3年12月15日(水)～令和4年2月28日(月)の内、受験者の都合の良い1日(午前または午後)を、全靴協連のホームページから予約していただきます。  
(一次試験と二次試験は試験日が異なりますが、予約は一度で行うことも可能。)

### (3) 学科試験

二次試験終了後同日に実施します。

## 4. 講習及び訓練

### (1) 一次試験実施後の講習

受験者は一次試験を受験し、試験官が現在の技術レベルを判定します。その後(同日に)受験者に二次試験合格のためのアドバイスと課題を示し、その場で講習を受け、技能の重要なポイントを把握していただきます。

### (2) 二次試験受験までの訓練

一次試験終了後、受験者には3足分の材料を支給しますので、これを使用して各自訓練をしていただきます。希望者は人材研修施設で訓練することもできます(要予約)。詳細は技能試験担当にお問い合わせください。

## 5. 試験結果の通知

各受験者の試験終了後1カ月以内に通知します。

## 6. 受験料

12,000 円(消費税含む)

受験申込受付後、受験料の振込口座をメール或いは FAX で連絡いたしますので、お振込み願います。振込手数料は受験者の負担となります。

また、振込を証明する書類(コピー可)は一次試験の際提出していただきますので各自で保管願います。

## 7. 受験申込書の受付期間と受付先

受付期間： 令和 3 年 9 月 2 日(木)～ 11 月 30 日(火)

定員： 20 名(製甲:10 名、底付:10 名)

受験申込書(添付)は受付期間中、全日本革靴工業協同組合連合会で受け付けますので、メール添付或いは FAX で送付願います。

(FAX の場合は、後日原本を郵送願います。)

e-mail:tokuda@zkk.jp

FAX:03-5603-8678

郵送先:〒111-0025 東京都台東区東浅草 2-17-1

全日本革靴工業協同組合連合会 技能試験担当

(TEL:03-5603-2135)

## 8. 受験申込書の記載及び申込上の注意について

- (1) 受験申込書は記載事項に記載漏れ及び誤りがないことをご確認ください。
- (2) 写真は6ヶ月以内の正面脱帽顔写真を貼付してください。
- (3) 受験申込書はコピーをとり各自保管してください。
- (4) ホームページにアクセスできる環境にない場合は、技能試験担当までご相談ください。

## 9. 受験票の送付

受験票は一次試験の2週間前までに指定いただいた住所へ発送いたします。試験当日は受験票をご持参下さい。

## 10. 学科試験出題範囲

試験の種類	共通分野	専門分野
革靴製甲技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 革靴の種類及び製法に関する知識</li> <li>② 皮革の素材、鞣し方、仕上げの特徴、用途等に関する知識</li> <li>③ 革靴の部品、付属品及び副資材に関する知識</li> <li>④ 紙型及び木型に関する知識</li> <li>⑤ 用具及び機械に関する知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 靴製造に関する知識</li> <li>② 製甲工程に関する知識</li> <li>③ 製甲用具及び機械に関する知識等</li> </ul>
革靴底付技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 靴のデザインに関する知識</li> <li>⑦ 足と靴に関する知識(足と靴の関連性及び足の病気等に関する知識)</li> <li>⑧ 安全衛生管理及び生産工学に関する知識</li> <li>⑨ 皮革、革靴の国内生産統計及び輸出入統計に関する知識</li> <li>⑩ その他革靴製造に関する一般知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 靴製造に関する知識</li> <li>② 底付工程に関する知識</li> <li>③ 底付用具及び機械に関する知識等</li> </ul>

## 11. 実技試験内容及び課題

実技試験は作業工程別の点数により技能を評価し、1級或いは2級の認定となります。試験の種類ごとに「婦人」または「紳士」のいずれかを選択していただきます。さらに、革靴底付技能については「手釣り」または「機械釣り」のいずれかを選択していただきます。

なお、実技試験内容及び課題に必要な工具(底付：ハンドセットの用意有)は実技試験の際に各自必ずお持ち下さい。

\*一部の工程ができない方でもその作業は補助いたしますので受験できます。但しその工程は減点対象となります。

デザイン：外羽根ウイングチップ(飾りなし)



## 「革靴製甲技能」

- 試験内容** 仕様書のとおり製甲完成品を作る。  
【ミシンはSEIKO TF-5(18種)、或いはPFAFF 591-940(サーボモーター付きポストミシン)、漉き機はNIPPY NP-202を使用します。ミシンの希望機種を申込書に記入してください。】
- 課題** 機械の調整、コバ漉き、折り込み、貼り込み、組み立て、ミシン、さらい等
- 時間** 目安120分(最長160分まで)ですが、完成までが採点対象で、その時間により獲得点数が変わります。

## 「革靴底付技能」

手釣りか機械釣りのいずれかを選択する。[セメントド製法による]

- 試験内容** 手釣り 仕様書のとおり手釣りで底付完成品を作る。  
機械釣り 仕様書のとおり機械を用いて底付完成品を作る。

【使用する機械は以下のとおり】

トーラスター ORMAC Challenger(ホットメルト機能未使用)、甲革蒸し機 MolinaeBianchi UPB、ヒールラスター ORMAC ROLLER 850、踵成形機 International 1128(片足タイプ)、本底圧着機(空気圧タイプ)、両頭グラインダー、再活性BOX

**注1** 中底仮留め機、先芯プレス機、ヒールパウンディング機設備無し  
中底仮留めは丸釘を使用、先芯プレスはハンマー等で対応、ヒールセットはハンドヒールセットを使用する。

- 課題** 手釣り 下ごしらえ、つり込み、ヒールハンドセットとパウンディング、起毛、糊塗り、底貼り、等
- 機械釣り 下ごしらえ、トーラスター、サイドのまとめ(手釣り)、ヒールラスター、ヒールハンドセットとパウンディング、起毛、糊塗り、底貼り、等

**注2** 婦人靴は、スタックヒール(ヒール巻き作業不要)マクリ仕様で本底のサライを行う。

**注3** 紳士靴の場合ヒールセット作業不要。

- 時間** 目安 紳士靴 手釣り90分(最長120分まで) 機械釣り60分(最長80分まで)、婦人靴手釣り105分(最長140分まで) 機械釣り75分(最長100分まで)ですが、完成までが採点対象で、その時間により獲得点数が変わります。



# 革靴製造技能試験の流れ

**受験希望者** 【受験資格】製甲及び底付けの作業経験が半年以上あり、作業用の工具の使用、機械の操作が安全に行えること。

## 受験申込書提出

受付期間 令和3年9月2日(木)～11月30日(火)

受験申込書は、メールまたはFAXで送付する。  
受験料は受験申込受付後、口座振込。

## 受験日の予約

一次試験及び二次試験の受験日を全靴協連のホームページから予約用パスワードでログインし予約する。

受験申込受付後、技能試験担当より予約用パスワードの連絡があります。

## 受験票受け取り

受験票が一次試験の2週間前までに届かない場合、受験票と受験申込書の内容が相違している場合は、技能試験担当までご連絡ください。

## 一次試験(実技試験)

令和3年11月1日(月)～12月24日(金)のうち、受験者が全靴協連のホームページからあらかじめ予約した1日(午前または午後)

### 講習及び訓練

全靴協連研修センターで講習及び訓練を受けることができます。(要予約)

## 二次試験(実技試験・学科試験)

令和3年12月15日(水)～令和4年2月28日(月)のうち、受験者が全靴協連のホームページからあらかじめ予約した1日(午前または午後)

**合格発表** 二次試験終了後1か月以内に通知します。

試験に関するお問い合わせ・お申し込み

全日本革靴工業協同組合連合会「技能試験担当」

TEL:03-5603-2135 FAX:03-5603-8678

tokuda@zkkkr.jp